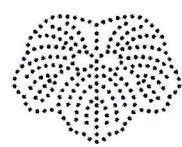


「うま伝」は高野の分身がお客様のところへご挨拶伺う。という気持ちでお届けしています。



リョウマ伝

53号
2024年4月26日
高野 竜馬

「北海道の友人」

先月、子ども達の春休みに長年の夢だった家族での北海道スキー旅行に行ってきた高野です。

子ども達は初めてのスキーに戸惑いながらも一日半で少しだけ滑れるようになって満面の笑顔。何とも言えない喜びを味わいました。

そして北海道へ行ったもう一つの理由は友人Mと会うことでした。札幌出身の彼とは同期入社した東京の会社で出会い

かけこれ30年超の付き合い。訳あって10年ほど前、独身に戻った彼は、失われた子育てを

やり直すように、ウチの子たちにジーンズスカンをふるまってくれました。

出会った頃はバブル全盛、ブティック企業なんて言葉もな

く、毎日残業。「24時間、働け

ますか、」のCMが流行っていた

時代。そんな中、Mは、し、ち、う会社を休んでは海外に行くので、「なんぞ？そんな好き放題やれるんだ？」と比喩から思われていました。（実は当時

のMにはスポニサーとなるパトロ

ン社長がいたのです。）

週末は夜の街にくら出したり、スノボをしに行ったり、鈴鹿までF1観に行ったり。今考えてもよく遊んだ20代でした。寮

で隣部屋だったMは夜な夜な僕の部屋へ来て、こういうのです。

「いいか、竜馬、若い時しか出来ないことをやろうぜ」

初めて北海道に行ったのもMの要知恵からでした。同期だけの札幌ツアーを企画したので

いんだよね。」

スキーなんて衣費だけでなく道具代もかかるし、余計な出費が増えると思った私は、か

たくなに拒否。予約締め切りも過ぎ、Mもや、と諦めてくれたかと思いきや、それも東の間

「A子ちゃん、ツアーに行けなくな、たんだよね。ホントはキャンセル料とかかからないんだけど

さ、俺がA子ちゃんからキャンセル料取ることにしたのさ。」

「それ？」

「お前がその差額で北海道に行くことになったのさ。お前が行ってくれることで、A子ちゃんのキャンセル料が減る仕組みだから、お前は救世主だ。A子ちゃんもお前に感謝してるよ。」

そんなこんなで人生初の北海道へ。こわがスキーに目覚めた瞬間でした。以来、私は冬の週末を、ほぼゲレンデで過ごし、5年ほどでスキー検定一級を取得

Mも驚くほどの腕前に成長

し、スキーが生涯の趣味になったのですから不思議です。

相変わらず「今しか出来ないことを」と言いながら好き放題のM。普通のサラリーマン

なのに金回り良く、ホルンエを乗り回す有言実行の男。

昔は「お前の好き勝手のせいで」と思うことも沢山ありましたが、今になってみると、

Mの「お蔭」で楽しい人生になっている気がします。



たかの財形事務所

〒819-0374 福岡市西区千里 707-13

☎090-3407-2123

<https://www.takanozaikei.com> メール fp.takano@gmail.com